

(報告書様式 C)

【 学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式 】(中学校用)

都道府県名	愛知県
-------	-----

学校の概要 (平成 1 5 年 4 月現在)

学校名	岡崎市立岩津中学校					教員数
学 年	1 年	2 年	3 年	特殊学 級	計	
学級数	3	3	3	1	1 0	2 8
生徒数	1 1 3	1 0 1	1 1 5	1	3 3 0	

研究の概要

1 . 研究主題

生き生きと学ぶ生徒の育成 ~ 「見つける力」を磨き、学びを強める授業実践 ~

2 . 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

・全学年・全教科
職員の共通意識のもと、すべての教科において「見つける力」を育てる場を設定することが生徒の学ぶ力の向上につながると考えた。教材開発については、少人数指導授業を行う英語、数学を中心に実施した。

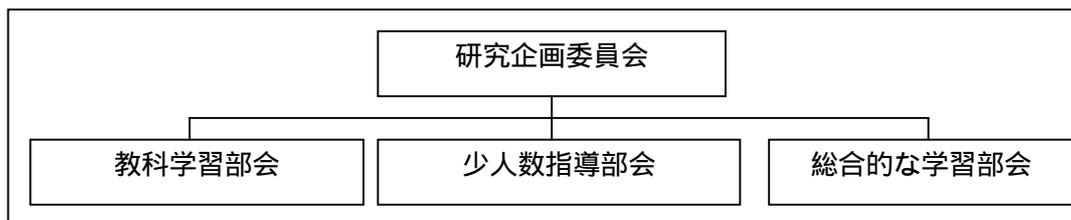
(2) 年次ごとの計画

平成 14 年 度	テーマ 生き生きと学ぶ生徒の育成 ~ 個に応じた学習指導の工夫を通して ~ 仮説 各教科および総合的な学習の時間において、個に応じた課題やテーマで習熟度別に学習を展開すれば、生徒は学ぶ喜びを感じながら学ぶ力を身につけるであろう。 内容・方法 個に応じた課題解決的な学習展開・教材の開発 単元毎の習熟度別の少人数指導の工夫・確立
--------------------	---

平成 15 年 度	テーマ 生き生きと学ぶ生徒の育成 ~ 「見つける力」を磨き、学びを強める授業実践 ~ 仮説 教科、少人数指導授業、総合的な学習において、個に応じた指導方法を工夫したり、それを支える指導体制を確立したりすれば、生徒が学び方や問題解決の力を身につけ、意欲や技能を含めた総合的な学力が育つであろう。 内容・方法 見つける活動を軸とした参加度を高める手立ての工夫 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた教材の開発
--------------------	---

平成 16 年 度	テーマ 生き生きと学ぶ生徒の育成 ~ 「見つける力」を磨き、学びを強める授業実践 ~ 仮説 教科、少人数指導授業、総合的な学習において、学びの評価を生かした指導方法を工夫したり、それを支える指導体制を確立したりすれば、生徒が学び方や問題解決の力を身につけ、意欲や技能を含めた総合的な学力が育つであろう。 内容・方法 見つける活動を軸とした参加度を高める手立ての工夫 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた教材の開発 学びの評価を生かした指導方法の工夫
--------------------	---

(3) 研究推進体制



平成 15 年度の研究の成果及び今後の課題

1 . 研究の成果

生徒の自己評価アンケートからは、以下の力や態度が育ったと考える。

- ・ 教科学習での「見つける力」「考えをもつ力」
- ・ 少人数指導授業での「内容がよくわかる」「進んで手をあげる」態度
- ・ 総合的な学習での「課題を見つける力」「調べる方法を見つける力」

どの教科でも、学びの振り返りの場を設定しているため、生徒は授業に目的意識をもち、教師は生徒の授業に対する思いを把握し活用できるようになった。

2 . 今後の課題

教科学習では、「人に伝える力」「質問や意見を述べる力」がまだ弱い。個人の思いを全体と関わらせる工夫の必要性を感じる。

少人数指導授業では、基礎クラスの中でさらに能力差があり、よりきめ細かな指導が望まれる。

学力把握のための学校としての取組

定期的な学力調査の実施（年 1 回、2 月）
 学期ごとの授業や学力に関するアンケート
 各教科、授業における自己評価カードの変化の分析

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

研究会の開催（予定）

期日	平成 16 年 10 月 15 日	場所	岡崎市立岩津中学校
テーマ	生き生きと学ぶ生徒の育成		
参加方法	文書による案内を通しての自由参加		

【新規校・継続校】	15 年度からの新規校	レ	14 年度からの継続校
【学校規模】	3 学級以下		4 ~ 6 学級
	7 ~ 9 学級	レ	10 ~ 12 学級
	13 ~ 15 学級		16 学級以上
【指導体制】	レ少人数指導	T . T による指導	その他
【研究教科】	レ国語	レ社会	レ数学
	レ外国語	レ音楽	レ理科
	レ保健体育	レその他	レ美術
			レ技術・家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】	レ有		無